

介護保険料の低所得者向け負担軽減に向けた条例改正案などが審査されました!

常任委員会
審査レポート

議案や陳情を詳しく審査するため、3つの常任委員会で審査が行われました。
(※紙面の都合上、主な質疑、意見のみを掲載します。また、正式な議案名は8ページでご確認ください。)

総務常任委員会

3月5日に議案2件と陳情1件の審査を行いました。議案2件は、いずれも原案可決。陳情1件は、不採択となりました。

こんな意見がありました

●陳情第1号 経費を節約するために、入札監視の内容を、既存の監査委員の監査基準に追加してもらうための陳情
【賛成意見】
・前回、入札監視委員会設置に関する陳情に対して、既存の監査委員を活用した方がいいとの反対意見があり、今回はそれを採用してはどうかとの陳情から賛成したい。
【反対意見】
・来年度からの下水道事業の公営企業会社への移行などに伴う事務量増加とい

う話もあり、現実的には大変難しい。入札価格調査制度などの取組を維持する中でやっていただくしかない。
※本陳情については、継続審査を求める意見がりましたが、賛成少数により否決となりました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 北田 宏彦 |
| 副委員長 | 秋葉 好美 |
| 委員 | 土屋 忠和 |
| 委員 | 小倉 利昭 |
| 委員 | 蛭田 公二 |
| 委員 | 黒須 俊隆 |

文教福祉常任委員会

3月8日に議案5件と陳情1件の審査を行いました。議案5件は、いずれも原案可決。陳情1件は、不採択となりました。

Q&A こんな質疑がありました

●議案第24号 大網白里市介護保険条例の一部改正
問 市民にとってメリットがあるのか。
答 低所得者層の負担軽減に関する内容であり、住民にとって良いことだと考えている。

こんな意見がありました

●陳情第2号 小、中、高かけがえない111人の命を守りたい自殺対策に関する陳情

【反対意見】

教育委員会においても見守り体制の強化等を行っており対応できている。美術の時間は情操教育にはいいが、児童心理学について、陳情者の実績がわからず、実際に取り入れるとなると疑問点があり、いかなるものかと思う。

産業建設常任委員会

3月9日に議案1件の審査を行い、原案のとおり可決しました。



- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 石渡 登志男 |
| 副委員長 | 上代 和利 |
| 委員 | 林 正清子 |
| 委員 | 山下 豊昭 |
| 委員 | 小金井 勉 |

「台風15号、19号、大雨による被害 対応と防災対策の見直し」について



森 建二 議員

会派代表質問
創 政

○台風被害の検証について
問 昨秋の台風被害は多くの爪痕を残しました。でも同時に私達は「経験」を得る事も出来たと考えます。市では現在、検証作業を進めていると聞きます。この大変だった経験を今後を生かす事を目的に、どの様に検証を進め、実を結ばせるのか伺います。

答 昨年の一連の災害対応における検証作業は、災害対策庁内検討会議に、情報の収集伝達、避難体制・避難場所運営、停電対策、断水・ごみ処理対策の4つの部会を設置し、検証を進めております。検証に当たっては、市民の皆様や職員より寄せられた意見等を基に、各部会において市として対処すべき課題を抽出し、原因の追究、課題に対する対策・対応を、ハード・ソフト面、短期的・中長期的な観点、市民・地域・市役所などの担い手の役割といった観点から整理し、検討を行っているところであります。今後、3月までに、中間の取りまとめを行い、6月頃までには最終的に取りまとめ、今後の災害対応に生かして参りたいと考えています。

表しました。伝染病等については国旗を振る話ですので市としての難しい立場も理解します。がしかし、私のところにも市民から多くのご相談を頂きます。もっとも、大網白里市は1月末からホームページ上で注意喚起を促したり、市のキャラクターの「マリン」を通じてツイッターで情報発信をしておりますので、比較的早くから対策を講じていると思います。まだ不確定な部分があるうかとは思いますが、改めて市長に伺います。ここまでの市としての動き、そして今後について、この新型コロナウイルス感染症に対する心構え、現在の動き、今後の考えを聞かせて下さい。

答 新型コロナウイルスへの対応につきましても、世界的規模で感染の拡大が続く中で、現段階で国外で約8万人、国内でも150名を超える感染者数が確認されており、今なおその数は増加を続けております。また、県内における感染者は、これまで中国からのバスツアー関係者及び帰国者に限定をされておりましたが、去る2月22日には、隣接の千葉市で中学校の教員の感染が確認されるなど、先週末から今週にかけて、国内における感染が拡大してきており、非常に憂慮される状態となっております。現在の処、本市内における感染事例は確認されておりませんが、状況を受け、本市においても市民への感染防止を最優先課題として、去る2月25日、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、各部署間で情報共有や今後の対策について協議をしたところです。市民の皆様には、これまでにも市HPを通じ、手洗いや咳エチケット等をお呼びかけて参りましたが、この対策本部での協議を踏まえ、今後はより多くの方々にこうした対応に努めて頂く様、区長回覧やSNSなども活用しながら、人混みを避け、不要不急の外出を控えるといった予防措置や、発熱や咳が

続いた際の対応、相談・問合せ先などの情報と併せ、随時必要な情報を提供して参りたいと思っております。
また、市や関係団体が主催するイベント等については、不特定多数の方の参加が見込まれる様なケースにつきましては、当面、市民の皆様の健康を最優先に、開催を中止、又は延期する等の措置を講ずる事と致しました。更に、大網病院においても、院内での感染防止措置の徹底を図って参ります。

水対策、地盤沈下対策、現施設の解体費用、資材・労務費の上昇など総事業費200億円とも言われている。本市の新型コロナウイルス感染症に係る負担金額はいくらか伺いたい。
答 本市の負担額は、総事業費約166億円から国の交付金約44億円を除く負担額に、令和2年度の本市負担割合37.44%で算出すると、約46億円になる。総事業費には進入路整備に関わる用地測量、用地費は含まれず、洪水・浸水対策、地盤沈下対策などの費用も見込んでいないため、仮に総事業費を200億円とした場合の本市負担額は約55億円となる。
問 財政状況が厳しい中、過大な負担を背負うことを懸念する。総合的に勘案して、見直す必要性はないか。
答 具体的な対策について検討することとしており、現在の候補地においても対応は可能である。
問 再度、借地契約の延長、あるいは土地の買取りを協議してはどうか。
答 改めて地権者及び地元の皆様と稼働期間の延長に関する借地契約の延長、あるいは土地の買取りといった協議をすることは、大変難しい。総事業費の圧縮に向けて努力していく必要があるのではないかと。
我孫子市の新クリーンセンター整備計画は、建設に係る概算事業費を約130億円と見込み。入札予定価格は、20年間の運営費込みで245億7千万円、総合評価方式を採用し、日立造船グループが施設整備費106億円、別途運営費72億円で落札している。落札率72.45%で、予定価格より67億7千万円削減できている。計画の見直し、建設費・経費の削減に向け、リーダーシップを発揮し、財政負担の軽減を図って頂きたい。

関連質問 北田 宏彦 議員



新ごみ処理施設整備計画について
問 稼働中の環境クリーンセンターと地元区との経緯について伺いたい。
答 地元区との稼働延長協議の結果、再延長は行わない事を条件に、令和9年度末までの稼働延長協定が結ばれた。新クリーンセンター予定地の選定は、土地利用条件、市民理解度や経済性を考慮した最終評価を経て、東金市上武射田区に決定した。

この外「市街地調整区域の地区計画運用基準の改正について」「大網駅南地区まちづくりについて」「子ども貧困対策について」「第2期子ども子育て支援事業計画について」